京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十五年紀元二千五百七十二年
本紙定價　一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢
月曜日及び祭日の翌日は休日
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行金三十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久太郎
印刷人　松久神一郎
發行所　京城西小門通　京城新報社　電話六大三番　振替口座京城四五六
仁川支局　仁川宮町三丁目　電話二一一番
東京支局　東京市京橋區南佐柄木町

●總督府豫算綱要（二）

（三）歲出の增加

四十五年度歲出の豫定額は

經常部	三〇、二三二、四九〇
臨時部	二二、六五九、七一九
合計	五二、八九二、二〇九

なり之を前年度歲出豫定額合計四千八百七十四萬一千七百八十二圓に比すれば四百十五萬〇四百二十七圓を增加すれば此の增加額を區別すれば

經常部の增加	二、四九九、三一四
臨時部の增加	一、六五一、一一三

なりとす

今本年度歲出豫算中重要なる增減の事項を左に揭ぐ

一、專賣事業費　一五四、〇〇五
製鹽及紅參原料收納の數量增加に伴ふ事業費の增加

二、裁判及監獄費　一二三四、五五三
在監囚徒の增加に伴ふ監獄職員の增員に關する經費及囚徒食費其他の增加

三、地方廳
地方行政事務の增加に伴ひ道吏員の增員に關する等の經費の增加

四、稅關　五八六、九四
滿鮮鐵道の連絡監視署及監所の增設等に伴ふ經費の增加

五、勸業模範場　三二二、五一二
元山出張所の新設及原蠶種製造所新設等に要する經費の增加

六、中央試驗所　八、二七二
中央試驗所新設により要する經常費の增加

七、遞信費
遞信管理所の增設及通信事業の發展に伴ふ職員等に要する經費の增加

八、鐵道作業費　一、〇九四、五七九
湖南京元兩線の延長並既設線等に事業發展及滿鮮連絡運輸等經費の增加

九、一般會計繰入金　六五三、八六七
事業公債利子等の增加

十、朝鮮醫院支出金
醫院特別會計を新設する爲要する支出金（追加豫算）　四五〇、〇〇〇
同上の理由により前年度總督府醫院及慈惠醫院經費の全部の減　六〇二、九五〇

十一、勸業費

森林保護機關擴張費	二一、五一八
土地改良獎勵費	三〇、〇〇〇
產業調査費	四九、五一三
綿作獎勵費	五九、九六六
土地購入費	八、〇八〇
苗圃費其他	六、〇二〇
差引計	一五三、六七五

十二、臨時土地調査費
土地調査事業の既定計畫に伴ふ經費の增加

十三、補助費

教育補助（新設學校增加の爲め要する補助の增加）	一九五、八五二
地方金融組合補助（組合數增加に伴ふ經費補助の增加）	三八、一九〇
沿岸及河川航路補助（航海船舶及回度數の增加等に伴ふ補助の增加）	一四、〇二二
救恤補助	一〇、〇〇〇
土木費補助	五三二、〇〇〇

群山水道補助三萬圓へ新義州防水堤築造補助二萬三千圓但群山水道は總額十五萬圓を三箇年に割合補助するものなり

勸業補助	一三七、五五二

畜産補助地方林業費補助工業補助土地改良補助地方產業獎勵補助等の增加

漢城衛生會補助	二、四九一
朝鮮銀行補給金	六〇、〇〇〇
差引計	五四六、一一四

十四、鐵道建設及改良費

鐵道旅館（建設費の內）新築費	一五〇、〇〇〇

鐵道旅館總額百三十萬六千四百十四圓を四箇年に亘る繼續費とす

改良費の增加	六〇〇、九二〇
既定年割額の繰延	二五〇、九二〇
差引計	五〇〇、〇〇〇

十五、京城水道改良及擴張工事費　一七七、八三八
水道需用增加に伴ひ擴張及既設部分改良工事費へ

十六、鎮海軍港市街經營費　五三〇、〇〇〇
鎮海軍港設備の進捗に伴ふ同市街經營に要する經費

十七、地圖及結數連名簿費　五〇、〇〇〇
徵稅の便宜上地主並其所有土地の見取圖作製及結數連名簿を整理する爲の經費

十八、平壤鑛業所採鑛費　四〇、〇〇〇
將來の需用增加に應ずるため採炭區域內炭田調査に要する經費

十九、其他諸種の經費　五六一、五九三
海關工事費の既定年割額營繕費及警務費其他の經費增減差引增

二十、治道費

道路修築費既定年割額繰延	五〇〇、〇〇〇
竣工道路修繕費	四〇、〇〇〇
差引計	四六〇、〇〇〇

廿一、行政整理に伴ふ經費減額　四七一、二〇〇

二十二、前年度限りの費途にて全部減ずるもの

鹽田築造及廳舍新營設備費	二二五、三六六
平壤鑛業所第二擴張費	七八、七七一
次計	三〇四、一三七

俳句

●仁川卯月會　初會席上即吟（二）
……△題、霞、鶯、藪入▽……　出席者互選點＝逆列

◉十點の部
奥もある樣に霞みぬ裸山　歟月
藪入や結ふて見たさの兩髪　一滴
開墾や等しく霞む海と山　一俳
夜ひと夜藪入り語り明し鳬　俳北

◉十一點の部
島山や轉す人の霞む處々　竹窓

◉十二點の部
鶯の鳴き合し鳬籠と庭　譜南
藪入りの許判高し浪花節　竹賀

◉十六點の部
鶯や旭に解易き籔の雪　松園

◉十七點の部
鶯にイんだらし屛の外　竹窓

◉十九點の部
鶯や茶を煮る窓の明けて有　一滴

◉二十點の部
（人）咲や山河に帶す薄霞　俳北

◉廿二點の部
（地）藪入や言葉の變る姉妹　一俳

◉廿四點の部
（天）鶯や聞んとすれば去むこす　俳北

外事一束

▲伊軍　佛國郵船二隻を拿捕し且つ其の一隻に乘組中の土耳其赤十字員をば戰闘員なりとて禁錮したる件は佛國民の多大なる憤怒を惹起したりと云ふ

▲英國　皇帝皇后兩陛下來る五月に於て加奈陀及び北米合衆國を訪問すべし

▲閉鎖　中の英綿業工場の紛議は終了し聯工製造者提案に同意と共に開始す

▲墺國　外相危篤說と共に其對伊態度に關し劇烈なる攻擊一部新聞に現はる

▲拿捕　の佛國滊船乘組土耳其人を上陸せしめたる後伊軍より釋放されたり

▲印度　より歸途に在る英帝ボートサイド港に於て埃及統監等に陪食を命ず

梁川庄八（やながはしやうはち）

第八十六回　小金井蘆洲演

偖梁川庄八は代官松浦五太夫の陣屋の門を叩いて夜中に訴へに及びました、假令夜中にしろ斯う云ふ重大なる訴は今晩は取上げられぬ、明朝に致せなんて譯には行かないから、陣屋に於ては俄かに騷ぎ立て、取敢へず訴訟口へ廻しなする、梁川は掛役人に對ひ庄『拙者は奥州仙臺の浪人梁川庄八と云ふ者でござる、我同國人齋藤才助なる者、八月廿三日の夜若王子の長左衞門暗殺の嫌疑を受けて捕へられ、甲府町奉行に送りとなり、今や牢間拷問に掛つて居る趣き、拙者の考へでは長左衞門を殺したるは才助に非ずして他に犯人あること、其時の事情に照らして推量致したるに依り、夫れ〳〵搜索の末漸う突留めて今宵其本人を召連れて參つた、此者は駒ケ瀧の萬八と申するもの主野村伴藏の賴みを受けて當夜長左衞門を殺害致した本人でござる、速に野村伴藏を御召捕あつて公明の御吟味を仰ぎたい、若し猶豫するに於ては如何なる手違ひに相成るやも知れず、彼れ伴藏なるものは今宵若王子新町の和泉屋と云ふ料理屋の二階に遊んで居るに依り、直に其家へお役人を差向け下さる樣、若し今宵召捕譯に行かぬなら云ふなら、拙者が出張して召捕つても宜しいが夫は越權の沙汰、宜しく當役所の御手を以て早速御召捕下し置かれたい』と聞て代官松村五太夫は大きに驚き取敢ず庄八を座敷に通る、萬八は嚴しく白洲に留置いて番人を附け、伴藏が逃げぬ中にと即刻與力手代に命じて和泉屋に踏込ませた、野村伴藏は女を相手にさん〳〵騷ぎ疲れて今や床に就かんとする折柄、裏表からドカ〳〵と踏込んで來たから醉ふては居たが、傷持つ身の落付かねて、何事ならんと身を起さんとする途端役『御用』と一聲忽ち高手小手に縛められ有無を云はせず陣屋に引立てられて早や白洲の内の砂利の上に座するの人となりました、扨吟味の時には庄八は引合人として長緣側、浪人齋に座し白洲には伴藏萬八の兩人居所の並の如く最も打萎れて居ます、代官松村五太夫のお取調にて段々問詰めて參りまするさ萬八は何に思ひけん伴藏に向つて萬『伴藏さんもう駄目だ、實は小訴は皆白狀して了ひやした、覺へのねへ事なら何處までも云張るのだが、覺への有事を云張つてお上にお手數を掛た所が何うせ長い正月は出來やしねへ、小訴も白狀したからお前さんも男らしく白狀して了ひなせへ』代官此處ぞと思つたから代『さあ伴藏如何だ有体に白狀すれば宜し飽迄も其方が陳じ僞るに於ては水火の責を以て云はせるが如何だ、既に其方が手先を務めた萬八が斯く白狀したらば逃れやうとて逭さぬ、天罰と諦めて恐入つて白狀しろ』との代官松村の說諭に有繫の伴藏も如何とも詮術なく、色青褪めて五體慄ひ淚を流して伴『恐入りまして御座います』と伏罪致しました、そこで早速口書爪印させて此兩人を一先づ牢内に下げ、代官は鄭重に庄八に打向ひ代『其許此度の儀に付いて、御盡力下し置れ、誠に拙者共役目に取つての落度を輕う致したる段、辱なく存ずる剛らすも拙者共寃枉の齊藥屋を苦しめた段誠に相濟まぬ庄『いや其許はた役目の本分を盡したのである、齊藥屋の懐中に多分の金子且つは彼が腰の物に血痕骨傷があつて見れば、彼にお繩を掛けるのは至當でござる、殊に其許は一同の吟味をもなさず町方支配と云ふ所から速に町奉行藤本下總守にお差立になつたのであるから、此方に於ても其許に對して兎や角申す筋合はない只茲に許し難きは町奉行下總守見込み裁判を以て才助を牢間に掛けるとは甚だ不屆至極の處置でござる、拙者は明朝城代に出頭致し逐一右の次第を申上ぐる決心である、然る上は御城代のお指圖もござらうから、夫までは此兩人をお預け申す假令町奉行から如何やうなるお達方があらうとも御城代から何分の御沙汰あるまでは決して御引渡し下さるな是れも皆お國の御爲を思ふ老婆心でござる』代『大きに御最も僞かに仰せに任せてお預り申す』そこで庄八陣屋を立出でまして直に甲府の三樹屋方に立戻つて參りました、庄八は甲府へ付くと夜が明けましたから朝飯を濟まして即刻、甲府城代本多長門守が屋敷に出頭に及び御用人吉村專右衞門と云ふものに對面して始終の話を致しまする、專右衞門は大きに驚いて主人長門守に申上げますと、長門守も驚かれて專右衞門をして庄八の陳述を聞取らすることになりました。



寺內總督閣下に申す（二）

水　涙　生

伯爵閣下、已に前號に於て述べたるが如く、閣下と余輩とは、私的關係に於てこそ何等交渉を有せざれ、日韓關係の高等政治に付ては多少の關係を有したのである。故に伯が故桂公の後を襲ひ總督として、印綬を帶ぶるの日に當りては、余輩は大に心强く感じ、同時に稀望の情に充たされたり。伯や韓國併合の局に當る、伯や韓國を如何にせんとするか、之れ余輩の最も注意せる所なりき。伯は聊か負擔なる事あり、後の朝鮮統治に對し、州出身の相携たる閣下の勝算に對し……の問題を鳴らしたるが如きは、偶々以……の歡迎せられざりし一……寺內總督は素と正直……ちを自覺するや改むる……にあらずと、然り大伯の……がざるもの、如し、玆……は過去の閣下は指き、……向かつて種々の注文及……こす、之れ聊かなりと……を進め、同時に最負相……方桂冠を得せしめむが……あらむや。

る。板垣伯を始め、其他の人々は、尙ほ合併等をも無事に終了したのであつたが、……如何なる事情の有りしかは知らざるも、閣下は總督として、……に於て其の任を全うせしめ、……閣下は過去の後繼者を得るが爲め……不幸なるかな閣下には……併合後の結末、乃ち經濟……の仕事に慣るゝ之れ始めて……に就業を爲さしむるが如く……閣下の心事……の仕事を引受けて起つた……水を掬ぐ……而かも半島の爲め及び閣下の爲め……閣下は半島產業行政の……併合後閣下は……命令を出し……會社令の如きは……

東京電報

●御慰問使　天皇陛下には爆藥庫爆發罹災者慰問の爲め奥侍從差遣はさるべく侍從は一兩日中出發

●火藥庫爆發　群馬縣下岩鼻火藥庫爆發し三棟粉碎四十六棟半壞となり即死者六名負傷者數十名

●大火御救恤　天皇陛下には大阪大火の趣聞召され二十三日罹災地視察のため侍從日野西資博氏を御差遣の御沙汰ありたると同時に御救恤金七千圓下賜せられたり

北京特電

●伊犁兵叛亂　伊犁兵又々叛亂をなし伊犁將軍は其家族と共に殺害せられたり

●露の外蒙古策成功　外蒙古は露國より銃砲を購入駱駝にて庫倫に運搬しつゝあり露國の外蒙古策は着々成功しつゝあり

朝鮮報

●土地調査進捗現狀　土地調査局の三角測量は四十三年度來引續き現在に至り大三角本點完了地域は平安南道以北順安、飯山間の一圓、黃海道の谷山郡、同四川、平山郡、信川、載寧、安岳地方、江原道の伊川郡、京畿道の麻田、加平より江原道の南端蔚珍に亘り其大三角本點未完了地は僅に其一部分を殘し又尙ほ若干の地方に平安南道、平安北道の沿岸、江原道平康、鐵原地方及京畿道南半の大部分にして大三角本點は測定したるも未だ全く觀測を爲さず而して本點測定を了へ大三角補點に移り已に補點の完了せる地域は黃海道の北大部江原道原州郡忠北丹陽郡江原道の南陽平海以南の地全羅北道一圓慶尙南道鎭海、馬山、咸安地方及固城龍南郡巨濟島等にして補點未完に屬する地方は慶尙南道の西部即ち全羅北道に接したる地方のみなりとす更に以上の測定を了へ小三角測量に移り之を完了したる地方は京畿道の南西大部、忠淸南道の北大部、忠淸北道の一圓、慶尙北道の北大部、慶尙南道の南大部に及びたるが慶北の南部は昨年末迄に完了するに至らざりし而して小三角完了地方は引續き圖根測量を施しつゝありて已に楊川郡、富平郡、金浦郡、通津郡、仁川郡、始興郡、果川郡、安山郡等の全部及大邱府は全く之を終了し目下頻りに整理中なり尙本點測量は四十五年度中に於て其の未完の部分を完成したる上更に咸鏡南道の大部咸鏡北道の一部を了らしむべき方針にして補點測量は其の未成地方全部を完了し小三角は黃海道の大部平安南道の一部全羅北道の全部及京畿道の殘部を終了せしむべき方針なりと

●土地臺帳調製着手　土地調査事業も着々進行し既に調査及測量を全部終了したる地方少なからざるを以て愈々土地臺帳を調製し記入に着手する場合となりたるが第一着は京畿道に一月下旬より開始すべしと云ふ

●水產新施設　來年度の水產業に關する其の筋の新施設を聞くに補助金としては朝鮮海水產組合へ四萬圓漁具漁船の改良及造船傳習費八千七百圓技手の增員四名（以前は技師二名技手十三名）漁船避難所改修補助費二千五百圓漁撈、製造及養殖事業の新設二萬二圓等なりと云ふ

●鮮農民と小作權　朝鮮の或る地方に於ては今尙ほ小作權の賣買行はれ居るが這は小作人が地主より得たる耕作の權利を地主に無斷にて他の小作人に賣却し他の小作人又之れを他に轉賣することにて朝鮮にては之れを『私賭支』と稱し居れる由斯かる有樣なるを以て地主中には平素自己の小作人の何人たるやを知らず一年一度の收穫期に於て始めて之れを知るを普通とせる由なるが右小作人の權利賣買價格は通常其の土地の賣買價格の三分の一なりといふ而して一方地主は土地の改良を欲し又は小作人を替へんとすることあるも其の相手の何人なるかを知らずヨシ又相手の小作人判明せしさいへ小作人は他の小作人より一定の金額を以て買ひ受けたるものなるを以て到底解約の出來得べきに非ず從つて地主は自己の土地といひ自由に之れを處理する能はず小作人の言ふがまゝになし遂に最初收穫物を折半するの約ありしものが三分の一又は四分の一となり地主の苦痛少からざるが此の弊の最も盛なるは平安北道なりと云ふ

懸賞論文募集

半島鑛業振興策

募集規定

一　懸賞金壹百圓

一　右は當選論文發表と同時に當該論文寄稿者へ贈呈すべし。

一　文章は論文体言文一致体何れにても宜敷成べく平易簡明なるを可とす。

一　當選論文の決定は本社爲に鑛業關係諸大家の審判に因るものとす、而して當選論文の數は一篇とす。

一　應募締切期限は來る三月一日とす

一　當選論文の發表は來る三月十日の本紙上に於て爲すものとす。

一　當選論文の發表は寄稿者の御希望に因り本名匿名何れになすも妨げなし但し匿名を要せらるゝ方と雖本社に對しては住所氏名を明かに通じ置かるゝ事。

一　應募論文は當選外のものと雖應募者へ返還せざる事。

附記　本懸賞は實際的鑛業振興策を募集するものなれば文章の巧拙は敢て問はざるものとす

京城新報社

●鮮人と小包郵便　…播光化門郵便局長の談…

◎朝鮮人が深く利便を感ずるは小包郵便と郵便爲替の二つなるが如く通常郵便とか書留郵便とか電信とかは元韓國政府管掌の時代に於ても不完全ながらも其機關のありたるも小包郵便とか郵便爲替とかは機關のなかりしが爲め假令一錢の金も一足の草鞋も脚夫を立てるが幸便に托するの外なかりし從て其賃銀の如きも高きを支拂ひたるに此機關の設けられたる以來は低廉の料金を以て速かに送達の目的を遂することを得るが爲め朝鮮人が最も便利なりとする處なりとす

◎就中小包郵便は交通不便なる處程ソレ丈便利にして衣類と云はず食料と云はず小包郵便を利用して不便を補ふこと尠少ならず又商家の如き代金引換小包郵便として其取引の安全なるを得る等是れが爲小包郵便の如き日に月に多きを加ね他の郵便物に比するに增加の步合同日の論にあらず

◎明治四十三年十月乃至十二月の三ヶ月間に於ける朝鮮人が差出したる小包郵便物五千三十七個に對し昨四十四年十月乃至十二月の三ヶ月に於ける六千二百四個にして實に一ヶ月三百八十九個一日十八個の多きを增し又四十三年同期間に於ける配達數は五千四百二十一個に對し四十四年同期間は六千五百七個の數を算し實に一ヶ月三百六十二個一日十二個の數の增加を示せり依是觀之に如何に朝鮮人が小包郵便の便利なることを感ずるの深きかを知る今後は益々朝鮮人の小包郵便を利用するもの、增加するは期して疑はざる處にして當局者も亦其機關の利用方法に關し勗めて普及せしむるは現下の必要なりと信ず云々

●國有未墾地利用狀況　國有未墾地にして昨年中に於ける貸付面積二千五十町步事業成功の爲め付與したる面積百十一町步之を四十三年度に比すれば貸付面積に於て三百十町步付與面積に於て百五町步を增加せり尙客年中に貸付及付與拂下面積並に其の早年國有未墾地利用法施行以來の現在面積を示せば貸付面積一萬一千八百八十六町步付與又は拂下面積百卅一町步なりと

●總督尙ほ不快　過般來風邪の爲め官邸に引籠り靜養中なる寺內總督は二十四日輕快となりしより廿五日より登廳の筈なりしも今尙ほ不快に付三四日官邸に引籠り靜養すべしと

●拓殖總裁の來鮮期　豫て來鮮の噂ありたる拓殖總裁元田肇氏は議會の閉會を俟ち愈々三月中旬頃來鮮すべしとのことなり

●京城民團徵稅種別　京城民團にて客年十二月徵收せし稅金及び納稅人員を掲ぐれば戶別稅十一萬一千五百四十五圓二十一錢納稅人員一萬五千八百四十六人土地稅二萬三千〇七十五圓十錢同二千六百十三人營業稅二萬八千〇七十一圓三十九錢同五千六百九十四人雜種稅三萬七千九百三十四圓十五錢同六千八百九十二人合計二十萬〇六百二十五圓八十八錢同二萬五千三百五十一人なるが更に之れを一人の負擔に割當つれば戶別稅七圓〇三錢土地稅八圓八十三錢營業稅四圓九十三錢雜種稅五圓五十錢なりといふ尙ほ同月中に於ける滯納處分件數は五百十六件にして金額一千九百七十八圓八錢なりと

●民團有財產額　現今京城民團に於ける公有財產は土地三町六畝七步九坪八九七同三十六萬八千四百八十四圓公園土地二町八反一畝建物四千八百九十九坪八九七同三十六萬九千九百九十八圓井戶十七個所同二千〇四十圓水道四百八十間（延長）同二萬二千四百圓合計價格五十六萬二千九百二十二圓なりと云ふ

●鐵道收入旬報　一月十一日より一月二十日に至る朝鮮鐵道運輸收入概算を聞くに乘車人員六萬一千六百二十一人にして此の收入六萬六千六十二圓小手荷物廿萬七千十七噸にして此の收入八萬〇五百八十二圓合計十四萬六千五百七十四圓なり前年同期に比し一萬四千六百八十二圓の增加を示せり

●京城金融界の昨今　昨年末の狀勢を以て推せば表面上は金融緩漫を唱へたるに拘らず新春に至りでは內地金融界の影響を受けて多少の繁忙を見るに至るべき趨勢を有したる京城金融界昨今の模樣を聞くに當月上半は昨年末殘餘の決濟を終了する爲め各銀行共例年になき繁忙を極めたるも上半後は漸次銀行業者の業務閑散を來し廿日前後よりは漸く金融常態に復したるが如しといふ

●手形交換週報　京城手形交換所に於ける本月十五日より二十日に至る手形交換枚數二千六百〇一枚にして同金額八十八萬八千四百二十圓八十九錢一日平均交換高四百三十四枚十四萬八千〇七十圓十五錢を示せり

●兩宮の總督見舞　寺內總督微恙引籠療養中なるを以て昌德宮李王殿下は尹澤榮子を德壽宮李太皇殿下は金春熙男を各代理として廿四日總督邸に御見舞として差遣せらる

●鴨綠鐵橋夜間渡橋　鴨綠江の鐵橋は稅關の取締其他の關係にて從來日出前日沒後は夜間渡橋を許さゞりしが一般の便利を計り二十五日より夜間渡橋を許さるべしと

●淸津埋築工事近況　淸津港埋築工事の近況を聞くに人夫二百餘名を使役して岩石切取と埋立地の外壁の築造に從事せしめつゝあり昨今嚴冬の候と雖も該切取地は南方に面するを以て比較的地面の凍結甚しからず五六寸乃至三四寸を以て常とすれば作業豫想外に容易にして外壁の如きは遲くも來月初旬を以て竣成すべく外壁の竣成終れば作業は波浪の妨害を受くること尠なきを以て埋築工事は意外の進捗を見るならんと

●江原道蠶業成績　江原道にては昨年度に於て管內廿一ヶ所の共同蠶業所二百三十餘名の人員に改良蠶種を配付し改良飼育法を奬勵したるに其の結果良好にして春蠶は掃立蟻二百三十四枚に對して收繭高八百三十六石五斗夏蠶は百四十九枚五十三石八斗秋蠶は百二十九枚四十二石五斗を得るに至りたれば今年度は一層改良蠶種の飼育を奬勵すべしと

●日韓電氣の明年計畫　日韓瓦斯電氣會社にては明年度に於て線路十三哩を延長し車輛も七十臺乃至百臺を增加し舊車輛は全部新式に改め市內の線路は出來得る限り復線となすの計畫なりといふ

●平壤炭田調査　平壤鑛業所の所管に屬する炭田の內寺洞及高坊山の二個所は大体に於て既に其調査を終り居れども江東郡の方面は非常に有望なる大炭田の存ずる模樣なるに拘らず未だ調査を終らざる故農商工部に於ては二十萬圓二ヶ年半の繼續事業として之れが調査を爲すことに決定し先づ第一年の調査四萬圓は來年度の豫算に計上されたり

●鐘路小學校落成期　昨今建築中なる京城民團立鐘路尋常小學校は來四月中を以て竣工する由

●岡崎邦輔氏の退京　滯京中の岡崎代議士は昨二十四日夜行にて釜山に向ひ出發せり

●兒玉氏東上無期延期　總督府政府委員兒玉秀雄氏の東上期も延期となれり

●鮮銀舊營業所處分　朝鮮銀行は愈々來る二十八日新築行舍に移轉に付ては舊營業所は望みに應じ賣却又は賃貸すべしとの事なり因に同所の總坪數は六百坪なりといふ

●道內務部長の出發　各主管事務打合せの爲め會議終了後も滯京中なりし各道內務部長は何れも廿五日出發歸任の豫定なりしが同日午前九時寺內總督官邸へ集合することゝなりたるを以て一日出發を延期し廿六日を以て夫々歸任の途に着くべしと

●昌德宮の午餐會　李王殿下には二十五日正午貴族十餘名を招待し午餐會を催さる

●米田遞信書記官去來　遞信省書記官兼關東都督府參事官米田奈良吉氏は滿洲國及朝鮮に於ける郵便事務視察のため二十四日夜入京一泊の上二十五日夜奉天に向け直行し更に北京に向ふ由なるが朝鮮には歸途再び立寄り視察をなすべしといふ

●廣梁灣粉碎工場新設　廣梁灣天日製鹽所にては未だ粉碎機の据置を見ざりしが朱安製鹽所に於ける成績の良好なるにより明年度より粉碎工場を廣梁灣に新設すべしと云ふ

●釜山の鑿平工事成績　釜山に於ける元英國領事館敷地の鑿平工事は明治四十二年五月着手以來空氣壓搾鑿岩機械を用ひ着々進行の結果四十四年十二月迄に九分通竣工し尙海面の埋築堀鑿土石を以て埋立て昨年來迄に九步三厘方埋築せり而して埋築地に於ける道路工事は目下着手の準備中なるが鑿平工事は本年四月には完了の豫定なりと云ふ

公人私人

▲田中卯三（咸北財務部長）　廿四日出發釜山

▲阿部秀太郎（朝鮮銀行釜山支店支配人）　同

▲仙波正太郎（同安東縣同）　同安東縣

▲鈴木源之助（同新義州同）　同新義州

▲加藤米太郎（愛知縣參事官）　同釜山

▲岡崎邦輔（代議士）　同

▲中村先吉（朝鮮銀行平壤支店長）　同平壤

▲永瀧久吉（間島總領事）　廿五日午前南大門發東上

▲岡正矣（日韓瓦斯會社支配人）　廿六日馬山へ出張月末歸社の筈

▲米田奈良吉（遞信省書記官）　二十四日夜入京翌日夜奉天へ

▲京城手形交換高▼

一月	金高	枚數
廿五日	一八九、一八九、五六〇	四〇三

▲茶袋▼

京城商業會議所で勤續店員の表彰式が擧行された、被表彰店員の名譽は素より其店主の面目や想ふ可し▲そも店員が五年十年と永く勤續するといふことは、當人の克己勵精に因るが、一面店主と店員が圓滿に調和された結果にして、眞に主從關係の敦厚なるを證するに足るものである、吾輩は向後斯る美風の京城の天地に益發現されんことを望むで已まぬ▲我國の商店に於ける小僧養成即ち徒弟の教養は我國の一大美風と云つて可なり彼商店の小僧が、夙に起き晩く寢ね、其間掃除拂拭、應對接客の役務に服し、店頭其行儀を崩すを得ず、店內長上に對する禮讓を缺くを許されず、而かも飽食に甘んずる等、幾多の難行苦行を積みて漸く手代番頭の地位に到達する迄には彼等は秩序勤勉の良風、實際實用の智識、剛健堅實の氣象を養成せられ終に一戶の主となりても百難不屈、反つてハイカラ的智識を振り廻す者より も多く成功を見る▲今回の被表彰店員も永き勤續の間如上の經驗を經來りしことであらう、其將來や實に賴もし、諸子それ自重せよ。

제871호 1912. 1. 26.

京城居留民團公文

京城居留民團告示第三號

明治四十五年度京城居留民團歳入出豫算左ノ通追加更正ス

明治四十五年一月二十二日

京城居留民團長　古城菅堂

明治四十四年度歳入出追加豫算表

[illegible]

●瑞典から滑走具

▽三浦氏から教育會へ

本社長の知人なる瑞典[illegible]一面には「スカンヂナヴィ」年[illegible]聞の記者[illegible]京城理事官[illegible]瑞典公使館[illegible]三浦彌五郎氏は本社長を通じ瑞典ストツクホルム製氷上滑走具大小三具を京城教育會に寄贈し度き旨過日申し越されたるが右は去る二十四日本社に到着したるを以て本社長は[illegible]小杉幹事宛寄贈し[illegible]の都合なるが尚三浦氏は右に添へて護謨製氷上歩行用靴大小三足を以てせられたれば此も同時寄贈すべし今此と同時に同氏が本社長に寄せられたる寫眞に依るに同國にては國王陛下、皇太子、同妃殿下なども盛んに滑走せらるゝと付つて陛下は同地駐在各國使臣と雪中長途滑走を試みられしに陪したる三浦氏の覺束なき腰付も興あり、[illegible]御幼少に在しませども[illegible]に從つて日常の擧作活[illegible]承るも芽出度し、因[illegible]る滑走場は日韓瓦斯電[illegible]たる夫は頃日來暖氣續[illegible]勝たりして更らに一層[illegible]は滑走に適せざる由に[illegible]掛けつゝあり而して當[illegible]氷の供給者は明治町の日露商會にして浦鹽斯德より取寄せ販賣し居れりと

●郵便所長の詐欺

▽可愛がられて身の詰り

黄金町六十三番戸の二池[illegible]は本籍長崎縣北松浦[illegible]なるが先年渡鮮して[illegible]長となり執務せる内[illegible]身にも係らず昨年五[illegible]遊廓に多福樓の娼妓[illegible]○)の婀娜な姿に迷ひ同人を身受して龍山[illegible]十番戸に圍ひ置き内[illegible]りたる爲め家計不如[illegible]を案出し馬糞若干を[illegible]受けありと詐構して[illegible]材木商岸某を欺き手[illegible]詐欺したる上内地へ[illegible]晝中龍山署の中臺巡[illegible]十四日詐欺取財犯と[illegible]へ拘引せられたりと大に勝せりと云べし

●寒行僧の經の文句

[illegible]鹿にされてる施主[illegible]詰あり味噌摺坊主に[illegible]以て此をヘナチョコ[illegible]云ふに性質强壯なら[illegible]り難く士たること又[illegible]は學資金がなしア、[illegible]なしと考へた末が人[illegible]デモ遣つて坊主にデ[illegible]扱として今熟ら佛教[illegible]にされた輩を申す符[illegible]ちに多く此デモ坊主[illegible]寒行とやら申して市[illegible]の扮装夜中ならこそ[illegible]らこそ怪む人も少なけれ若し電燈の下に引き出さば將さに滑稽畫傳の好模範、鼠の法衣、香染の袈裟は他目を忍ぶ袖頭巾一皮剝けばメリヤスの襯衣股引毛皮の短衣綿入の二枚重ね紺足袋の上には何とやら云ふ足袋の上穿き鶴屋式の薩摩下駄に冷を厭ふてツマ掛けしスッポリ冠つた頭巾の下耳には例の耳袋、錫杖突き立つる手には手袋懷中には懷爐の二つ胸にかけたる頭陀袋の中には忍ぶウヰスキーの小瓶、微醉機嫌で流して歩行く文句に曰く『オーマーイーシンシーデモテーラーエーリーヤーラーヌー』と門口に立つて報謝を受けると一段聲を張り上げて『ヤイテーコニシーテーサケデーノム』『チーン、ヂャラ〱ナムアミダブナムアミダブ、イヤハヤ好い面の皮也

●振替貯金の利用方（下）

（當局者談）

（三）遠方の家賃を受取るに都合の能い振替貯金

世間には遠方に貸家を所有し居る人が澤山あるが月々の家賃を瓦車や電車に乘つて受取に行くか郵便爲替で送金させるにしても相應の手數と費用と時間とを要する此の家賃を振替貯金に拂込ませるように自己の口座番號と姓名の印刷してある拂込用紙（金とある字の下へ家賃額即ち拂込金高を記入して置く）を借家人が一層便利です）を初めに數枚送つてさへ置けば月々の瓦車賃や電車賃の多くと時間が省けて居ながら家賃が受取れる借家人は別に書狀を出さずとも拂込通知票の裏面で修繕を要する所が出來たことでも其外の用向でも通信が出來るし拂込の受領證がある から家主は家賃受領の旨を記入する通帳を渡して置く必要がなくなり通帳の調製費も省ける獨り遠隔の地のみならず一市内に多數の貸家を所持して居る人々は自己の住居より懸け離れた所の借主に時々持家見廻りの折節を利用して拂込用紙を配付し置き每月振替貯金に拂込ませるようにすれば市内には郵便局所が多く設けてあることゆへ借家主にも格別の煩勞がない而して家賃集金の爲めに特に雇人を置く家では雇人も要せず其の給料全部を削減することが出來て經濟上尠からぬ利益を生み出すことが出來ます（終）

●出來心の板間稼

▽虚榮心に捉はれて

當地西部洞居住某内縁の妻井上コト（二[illegible]）は二十二日午後七時太平町三丁目毛橋湯に赴き籠の中に脱ぎ在りたる太平町三丁目官吏田村十郎の妻サヨの銘仙羽織一枚價格八圓五十錢を窃取したること發覺取押へられ二十四日檢事局に送られたるがコトは平素温順の性にして左る不正の眞似をする如き婦人に非らず虚榮心から出だホンノ一時の出來心ならんと

●花嫁を種に詐欺

▽結納物件五點

二十四日午前八時四十分南大門派出所勤務の重松巡査が見張中同所白藤商店前を泥棒……と叫びながら追跡する鮮人あり對手は飛ぶが如くに南大門小學校南側城壁に逃走するより續いて追跡し南部盤石坊治洞李學僖宅に逃げ込みたるを引つ捕へ本署に同行取調べたるに被害者は京畿道金浦郡高卿臺面一基洞農金漢鳳（三二）加害者は西部盤松坊慕華館月岩洞明紬商高永云（三七）とて去る十二日高が金の家に來たり予て貴公の實兄より弟金明淑の好配を依賴され居たるが龍山に恰當なるが見當りたれば態々參上せりとて金を同行龍山町名不明の朴召史方に赴く途中花嫁に贈ると稱し麻浦に於て衣類五點七圓五十錢を購はしめ朴召史方に至り暫し金を表口に待たせ置き今より轎を雇ひ來たりて嫁女を同行せんと欺き途中にて姿を晦ましたるに偶然出會つたので右の仕末と判明詐欺取財犯として告發したり

社告

一店員寫眞帖發刊

右は今回我商業會議所に於て勤續店員諸氏を表彰するの擧を賛し此機會に於て京龍仁各商店の店員諸氏紹介の目的を以て發刊するものなり詳細は後報すべし

京城新報社

●白米二斗を遙々と

▽仁川から盜で來て捉まる

二十五日午前五時頃西部夜珠峴派出所前を擧動不審の鮮人が通行するので朴巡査補が呼び留め訊問すると袋入の白米二斗を所持するより取調べたるに此者は慶尚南道生れの金春和（六〇）とて仁川から盜んで來たとのことに不憫ながら西部署に引致したり

●意氣地の無い若衆

▽蝎甫屋で無錢遊興

長崎縣人明町番戸不詳飲食店關トメ方同居無職小嶺安太郎（二五）は廿四日午後十時頃友人御成町番戸不詳井口次郎を誘ひ人力車を飛ばして石井洞三十六の九酒商元潤洙方に到り井口は趙蘭珠を小嶺は崔桂香を敵娼に就寢したるに井口は間もなく歸宅せんと勘定を請求されしも言を左右に托して支拂はず止なく大貞洞派出所に同行警官に説諭せられて漸々八十錢を支拂ひたるが居殘りし小嶺は翌日午前二時頃勘定五圓八十錢を支拂はず逃げ出ださんとしたるを家人に捕られて鍾洞派出所に突き出され無錢飲食者として本署に引致取調中

●雲峴宮から一萬圓

▽鮮人同志の詐欺

咸鏡南道德源面羅荷岱西村當時北部三清洞五十八統李容九方趙冕吉（三三）及び中部泥洞七十六統趙恭鎬（年齢不詳）の兩名は四十四年舊九月二日中部大廟洞八統六戸李在均及び中部廟洞八統六戸李寛燮の兩名に對し保證金として四百圓を出だせば雲峴宮より一萬圓を借用するを得と欺き李在均より百圓を李寛燮より三百圓を調達せしめ該金を拐帶逃走し居たるが此程二名の中趙冕吉を引つ捕へ二十四日檢事局に護送したり

●勤續店員表彰式

▽當地未曾有の美擧

既報の如く二十五日午後二時京城商業會議所は勤續店員表彰式を其樓上に於て擧行したり當日の受賞者は山口呉服店十三年勤續者高味庭三君外三十六名にして初めに深見副會頭擧式の辭を述べ一々既定の賞品を授與し終つて來賓菊地商工局長、檜垣道長官及び峯岸本社長の祝辭及演説あり續いて受賞者總代高味庭三君左の答辭を述ぶ

答詞

曩きに京城日本人商業會議所に於て店員奬勵規定設けられ京城各商店の勤續店員を調査表彰せらるゝや生等三十七名其撰に與かる、茲に本日を卜し第一回表彰狀授與の盛典を擧行せられ閣下並に諸賢の賁臨を辱ふし剰さへ懇切なる規箴を賜はる、生等の光榮何物かこれに加へん是れ一に店主諸氏の薫陶誘掖其の宜しきに因るにあらずんば焉んぞ今日あるを致さんや、深く感謝に堪へざる所なり自今愈々勉め爲愚に背き又今日の盛擧を空ふするあるを恐る豈に慎まざるべけんや、茲に店員一同に代りて蕪辭を陳べ謹んで大方の玉詞に答ふと云爾

明治四十五年一月廿五日

店員總代　高味庭三

當日の來賓は前記菊地、檜垣兩氏の外大庭府尹代理古城民長、人見商工課長、海津民會議長、今村南部署長、各店主其他民團議員、商業會議所議員、新聞通信記者等にして式後立食の饗應あり頗る盛會を極めたり、尚第二回表彰の際には鮮人店員をも同様表彰するの議を決せり因に當日は既定賞品の外同業京城日報は十年以上勤續五名の諸子へ副賞として銀メタルを贈り本社は受賞三十七名の諸子へ本紙六ヶ月分の進呈券を贈呈し聊か祝意を表したり

洋犬紛失

一ドイツ種ポインタア牝犬一頭

特徴　毛色白肋に白點あり兩足半白短き尻尾大きな光る眼

右は『ドラ』と呼べば來る犬なり御發見の御方は左記へ御知せ被下候へば相當の謝禮を差上べく候

京城貞洞　ソンタクホテル方　ギブス

●不心得な雇人

福岡縣人目下明治町二丁目酒見重吉方雇人酒見千代藏（一九）同縣人目下同上阪口齊（二一）同縣人目下明治町一丁目酒見勝太郎方池松正義（一七）福岡縣人目下明治町三丁目新藤方水戸大次郎（一七）の四名は二十四日午後十時半頃納見方臺所二疊の間に於て金錢を賭して骨牌の眞最中明治町派出所の警官に踏込まれ骨牌四十八枚場錢十二錢を證據物件として前記四名の身柄諸共南部署に引致取調中

●中部長通坊の出火

二十四日午後八時三十分中部長通坊布染洞三十八統五戸雜貨商李夏淳方店頭に置きたる火鉢の發火より發火したるが未だ宵のことゝて即刻廟洞派出所及び北部署より當直警部以下數名駈け付け附近の人々を督して井水を利用し九時十分鎭火したるが損害高は家屋並びに雜貨全部約千圓なりと

●公判だより

自稱愛知縣名古屋市南區押切町八丁目住所不定無職坂東庄太郎（二四）は二十四日京城地方裁判所に於て横領罪として懲役五ケ月に▲同じく京都市上京區笹谷川大字西入當時新町三丁目桑原方雇人小河武次郎（二二）は詐欺取財犯として同日懲役十ケ月に處せられたり

朝鮮名物　栗羊羹

味頗る美　体裁能く　變味せず

本町三丁目　[illegible]　電話[illegible]

●四圓の處へ五錢

原籍福岡縣門司市仲町三丁目八十五番戸當時中部貞仁坊承洞三十五統百戸客主業呉道泳方大工中川政隆（三〇）と云ふは一月三日平壌方面より流れ來たり爲すこともなく暮し居しが二十四日食料四圓三錢を請求せられたるもタッタ五錢より持ち合せなく北部署に突き出され警察犯處罰令で拘留三日の即決言渡しを受く

●不法極まる雇主

龍洞居住河内満一（三二）は一昨日雇鮮人金敬杜が云ふ事をきかぬとて顔面を亂打したるに附近の鮮人等が金を警察署に擔ぎ込み訴出でたるより久木田醫師は直ちに診察をなし満一を呼出して説諭放還

●仁川歌舞伎座告發さる

去二十二日青年會員某氏が二等席に就くや茶菓等の押賣りを爲したるを以て告發さる

●仁川の遺失

仁川濱町一丁目古屋武夫は去二十三日午前十時頃金十圓遺失

廣告

日本官製煙草



東亞煙草株式會社



名刺交換會收支決算

收入の部

一金五百三十五圓也　會費千〇七十名分

支出の部

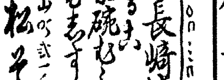
一金七十圓三十錢　名刺　大和商會
一金二十七圓　設備　伊藤組
一金十圓　植木借入　京城植物園
一金三十五圓　事務員及人夫給與
一金三十圓　新聞廣告料
一金二百六十一圓　京城ホテル
一金六圓　[illegible]
計金四百四十八圓[illegible]
差引殘金八十六圓[illegible]

右之通り殘金は御座候也

追て殘金の處分は發起人總代へ御一任被下度候

明治四十五年一月廿四日

名刺交換會發起人總代　古城菅堂



長崎流　志るこ　茶碗むし　むしずし

南山町二丁目　松その　電話一七九

恩給

年金低利長期契約即時立替手數料一割今般右營業開始仕南大門外神戸屋ノ分モ全部繼承致迅速且懇切ニ取扱可申候

京城櫻井町八四　山口屋

内科小兒科

診察時間　自午前九時　至午後二時

京城明治町三丁目

醫學士　村上龍藏

電話六一三番

明治四十四年下半期（第二十七期）決算報告

貯蓄預金	金二百八十萬六百十七圓六十二錢六厘
前期繰越高	
當期拂戻高	金四百四十萬三千百十八圓十四錢五厘
合計	金七十七錢 / 七百二十萬三千七百三十五圓
當期預リ高	
金四百四十八萬五千四百六十九圓（内）	
差引殘金二百七十一萬八千六百十九錢	

資産之部

拂込未濟資本金	[illegible]
諸會社債券	[illegible]
公債證書	[illegible]
諸株式	[illegible]
代理店勘定	[illegible]
預ケ金	[illegible]
貸付金	[illegible]
金銀在高	[illegible]
合計	[illegible]

負債之部

資本金	[illegible]
積立金	[illegible]
當期純益金	[illegible]
貯蓄預金	[illegible]
合計	[illegible]

損益計算

當期總益金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
合計	[illegible]
内 當期利拂及損金 / 諸雜費	[illegible]
差引純益金	[illegible]
利益金配當	[illegible]
賞與金	[illegible]
積立金	[illegible]
特別配當金	[illegible]
後期繰越金	[illegible]
合計	[illegible]

右之通候也

明治四十五年一月

長崎市築町百七番戸第一號

株式會社長崎貯蓄銀行

頭取　松田庄三郎
副頭取　永見寛二
取締役　松田英三
支配人　野口孝太郎
監査役　高見和平
同　肥塚與八郎

前記ノ各項調査ヲ遂ヶ其正確ナルヲ保證候也

京城黄金町二十四番戸

株式會社長崎貯蓄銀行代理店

株式會社十八銀行京城支店



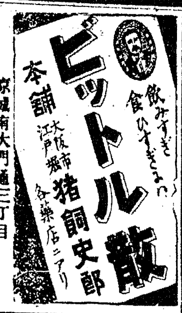
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 振替口座京城一〇六八十六番

▲通信販賣(賣次兼營)▼
◎一般の御手紙で百般の買物を滿足に調達する御用の通信販賣に限り申候
◎何品に不拘弊店へ御申入用の節は必ず先づ弊店地方に係る御買物品にして被下度候
◎營業品以外の物品にても御注文に隨ひ便宜買次取扱可申候
◎御注文の節は可成前金又は振替貯金に御送込被下度候
◎前金御振込み附なき御方には代金引換小包郵便にて御送附可申上候
◎御注文は地方係宛御申越被下候
△詳細は弊店物價表にあり御報次第進呈

營業概目
△各國時計及附屬品△眼鏡指輪裝身具類△貴金屬美術品類△歐米自轉車及附屬品各種寫眞機及原料△大聲蓄音機及び音譜

織居商店
直輸御小賣
京城本町四丁目
平壤大和町支店
釜山南濱町出張所
振替口座二三一 時計部電話三六二 寫眞部電話三二九 本町二自轉車部 電四八〇番 南大門通三樂器部
地方係

▲共通商品券▼
◎贈答品は弊店發行の織居共通券に限る
◎本券は引換地廣く扱店數も多き故
通商品券より多くの優たる便利あり
◎本券は左の各扱店に於て引換可申候
又左の扱店中寫眞店で寫眞代代用す
京城織居各部、平壤織居、釜山園田、仁川糸岐、北島、長野、元山山口、德田大田鹽崎、大邱木村、開城戸田、鎭南浦井川吉岡、群山神林、木浦田邊、沖永、安東縣、相良



代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 振替口座京城一〇六八十六番

◎一月十二日左記の處に移轉仕候
▲貸金 俸給者には無擔保にて精々便宜に融通申上候
京城旭町一丁目より二丁目に拔る小路 府廳裏 電話二四五番 高橋



◉は
酒タバコの毒をけし味を増す
精神を快活に胃腸を強健に食事を進め
諸君欠さず御服用あれ

朝鮮代理店 京城新井藥房

二十世紀の新劑
▲月經をつうじ子宮病を全治す
月經閉止三四ヶ月の滯りを通じ其他月經不順より起る子宮病血の道、頭痛、食物進まず、氣分鬱ぎ、逆上強く等の病を根治し、血のめぐりを能くす
月經不順
最良新藥


價藥 一日八錢半週分廿五錢一週五十錢 二週分壹圓、三週分壹圓四十錢
常に月經異動ある人持藥とせば毒血を下し子宮病に罹る憂ひ更になき良劑也
本舖 大阪心齋橋二丁目 丹平商會本店
支舖 東京日本橋通稻屋町 丹平商會支店
▲賣捌は東京市内其他各店に取次す
登錄商標 にせ物注意

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 振替口座京城一〇六八十六番

高島易斷 旭町二丁目御嶽山の内 大神教

廣告
弊本店ヨリ輸入ノ清酒各種ハ每造製品ノ前必ラズ關係官署ニ分析試驗ヲ乞ヒ傍ラ自家分析部ニテ試驗ノ結果衛生上無害ナル事ヲ保證スル爲メ左記ノ用紙ヲ樽菰商標紙ノ傍ニ貼附致置キ候間御案內ノ上倍舊御愛顧ノ程伏シテ奉懇願候 頓首
尙當支店醸造酒ハ顧問衛生部員ヲ以テ嚴密ナル試驗ヲ致居候

若二澤宅光
羽正
翠鶴龜宗武
醸造發賣元 宅合名會社仁川支店
仁川桃山町

衛生無害保證書
本品ハ試驗ノ結果衛生上有害飮食物及有害物品取締規則ニ抵觸セズ酒質ノ醇良ナルヲ保證ス

實形 藍地ニ白拔キ 巾二寸五分 立三寸五分



◎誠ハ弊店ノ主義也

醸造元
仁川山根町二丁目
深見勝三郎
電話二四八番 電信略號(フ)

洋藥賣藥 問屋 京城本町一丁目(郵便局前) 山岸天佑堂藥房 電話三七二番 振替二〇三二番
醫料理化學器械 京城本町一丁目(府廳前) 同 機械部 電話一〇六番

蒲團綿眞綿類は
特約メリヤス類安價大販賣
申迄もなく

新春の御裝飾は
京城明治町一丁目
唐川吳服店
電話二六一番
商品切手發賣仕候
地方の御注文は迅速に發送仕候

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 振替口座京城一〇六八十六番

シンヘチンアリ
特効劑
四季のかぜ、はやりかぜ、ねつ痛一切づつうの良藥
發賣元 京都市三條柳馬場角 川杉資善堂
藥價 二日分金拾錢 五日分金廿錢

莚齋流割烹 す津祢 南山町一丁目 電話千五百二番

商標 京城南大門通二丁目
三味噌
製造元 遠藤廣吉商店 (電話九八二番)

入院隨意 京城壽町三丁目(電話三七八番)
中島醫院
院主醫學得業士 中島貞信

英國セフヒールド市シーボムアンドディキスタル製鋼會社特約品
鑛山用 地球鷲印八角鋼
道具用 同 角磨鋼
職工用 同 鑢各種
右は朝鮮一手販賣罷在候處滿鮮地に於ける材料器具製作用として最も適當の爲め至極好評を博し價格亦內地輸入品より格外廉價に御座候間何卒一度御試用奉希上候

和洋金物商 京城本町五丁目
釘本藤次郎本店
(電話四五番)電信略號「ク」振替貯金口座京城二五六番

大坂南地大火奏効
東京竹內製金庫

定價表御入用の方は御申越次第無代進呈

今回南地の大火に於て東京竹內製金庫は全部の在庫品の無異安全を得て一の失効を生ぜず罹災地內に竹內金庫の存る處必ず奏効の木札を掲げあり脆弱なる金庫と堅牢なる金庫との差異は實地に於て最も明瞭なり
(附言)先年北區を初め青森市京吉原の火災にも全部奏効せし事は諸彥の記憶に新たなる處なるべし
◉竹內製金庫を据付け奏効を得たる諸氏の氏名は枚擧に遑あらざれば此處に之を略す

朝鮮特約店
京城本町二丁目京城府前
熊平支店
電話六二四番 振替口座京城二三一番

醸造元
政宗 正則 清正
酒 小賣壹升に付三十五錢
御賣は特別割引可仕候
清酒 味淋 燒酎 醸造元 京城壽町三丁目 中井酒造場販賣部
並に日用食料品雜貨類
電話にて御注文の際は一升以上は店員をして速達致さすべく候 電話百七十七番

營業項目
牛乳搾收業
家畜飼養繁殖
畜產物賣買
家畜糧販賣
種牛種付及貸牛
其他畜產業一切
○牛乳販賣は京龍牛乳一手販賣所へ委托致候間從來通御用命希上候
○洋牛及朝鮮改良種多々繁殖致候間御買求願上候
京城南大門外 荒井牧場 (電話一〇五六番)
江華島 荒井第二牧場

京城旭町一丁目
齋藤齒術所
電話一四一四番

▲株式會社百三十銀行京城支店
電話百九十四番 振替貯金朝鮮一一五八番 電話略號(ク) 電話九九三
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿內 大阪、神戸、兵庫、京都、西陣、堺、伏見、郡山、奈良、八木、田原本、高田、貝塚、岸和田、下市、茨木、平野、住吉、御影
東海道 津、東京、横濱、大磯、靜岡、甲府、岡崎、濱松、半田、桑名、名古屋、熱田、四日市、山田、松阪、千葉、龜山
東山道 彥根、大津、八幡、長濱、多治見、大垣、岐阜、中津、宇都宮、伊勢崎、長野、高崎、前橋、若松、福島、秋田、能代、土崎、青森、仙臺、北方、加納
北陸道 小濱、敦賀、福井、鯖江、大聖寺、金澤、高岡、富山、伏木、新潟
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、太田、倉吉
山陽道 姫路、龍野、網干、岩見、西大寺、岡山、味野、牛窓、玉島、笠岡、鞆、倉敷、高梁、尾の道、福山、府中、三原、廣島、呉、小郡、岩國、柳井、平生、防府、山口、德山、萩、長府、小月、下之關、明石、津山、阿知須
南海道 和歌山、円邊、御坊、新宮、尾鷲、串本、高松、阪出、豐濱、川之石、今治、西條、松山、吉田、洲本、八幡濱、宇和島、高知、德島、撫養
西海道 郡中、門司、福岡、博多、直方、飯塚、伯大分、別府、臼杵、長洲、長崎、佐世保、唐津、佐賀、若津、牛津、伊萬里、久留米、熊本、鹿兒島、坪井、宮崎、八幡、小倉、中津、行橋、神崎
北海道 小樽、函館、札幌、旭川
臺灣 臺北、臺南
樺太 太泊
朝鮮 仁川、釜山、平壤、鎭南浦、元山、群山、木浦、羅州、晉州、馬山、尙州、大邱、羅南、新義州、城津、開城、濟州、大田、金泉、公州、水原、全州
淸國 安東縣、大連、營口、奉天、旅順
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

貸家 南山町二丁目總督府前風景絕佳官吏に適當家賃一ヶ月二十五圓
京城本町二丁目 辻屋

東京流納豆大安賣



味噌製造 漬物問屋 仁川本町三丁目 たからや 電話七三七番

一月中 滊船出帆廣告
キ
三省丸 廿八日前十時 舊島行
天草丸 廿九日前九時 海州行
成歡丸 廿六日前十時 屯串行
海利丸 廿七日前七時 海州行
三省丸 廿七日前十時 大湖芝行
合資會社 秋田商會船舶部
仁川本町四丁目 電話一七三番
仁川本町二丁目 電話七五〇番
秋田商會船舶部荷捌部 仁川本町海岸通 電話四一九番
荷客取扱所
柴田回漕店 電話五二三番
仁川本町四丁目 山本回漕店

京城本町三丁目
大坂野村德七代理店
田中友吉商店

帝國公債株券現物賣買
迅速確實に御取扱可申候
兼業